

平成 29 年度府中町キッズ環境調査プロジェクト報告書

1 目的

このプロジェクトは、次代を担う子供たちの視点に立ち、子供たちは府中町の自然環境・生活環境というものをどう感じているのか調査をし、その声を地域に伝え、地域で課題に取り組んでいくという地域力を生かした環境づくりの仕組みを作り、環境保全意識及び地域コミュニティを醸成していくことを目的としています。

2 対象

町内全 5 校の小学校を対象に、各学校で選定した学年の全学級で調査及び活動を行いました。なお、各学校の対象学年、学級数、児童数は、次のとおりです。

府中小学校	5 年生（3 学級）	121 人
府中南小学校	4 年生（3 学級）	104 人
府中中央小学校	5 年生（3 学級）	101 人
府中東小学校	4 年生（2 学級）	68 人
府中北小学校	4 年生（1 学級）	41 人
合 計		435 人

3 活動内容

- (1) キッズ環境調査アンケート
- (2) 各学校での取り組み

4 キッズ環境調査アンケート

府中町の自然環境や生活環境に対する子どもの意識について、選択式（一部記述式）で回答するアンケート調査を行いました。

5 各学校での取り組み

各学校では、児童がどのような意識や関心を持っているかをもとに、それぞれの学校で取り組むテーマを設定し、子どもの視点に立った環境調査などを行い、地域の環境について考え、体験や学習を深める活動を行いました。

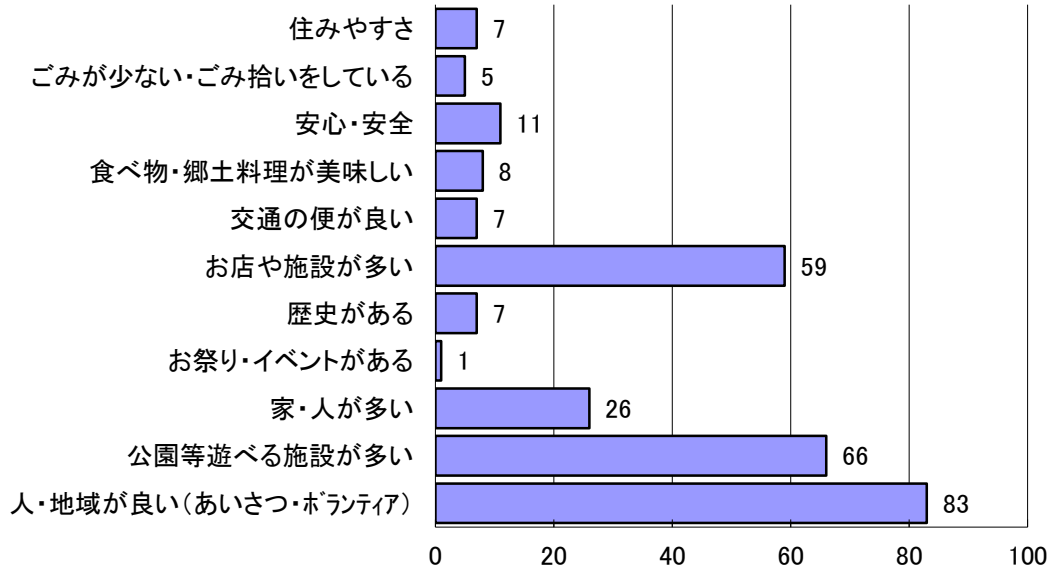
【 キッズ環境調査アンケートの集計結果 】

※ 割合は、四捨五入の関係上、合計値が100%にならない場合があります。

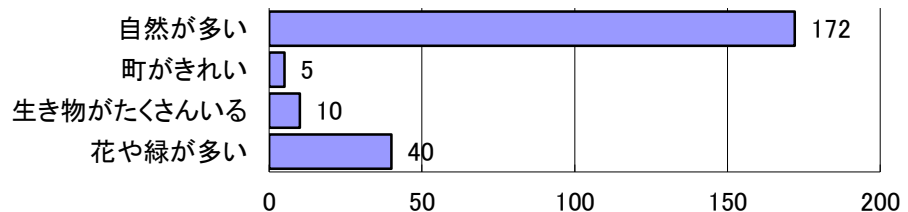
◇ 山・川や池・生き物について

問1 府中町の好きなところは、どんなところですか？

○住みやすさ



○自然



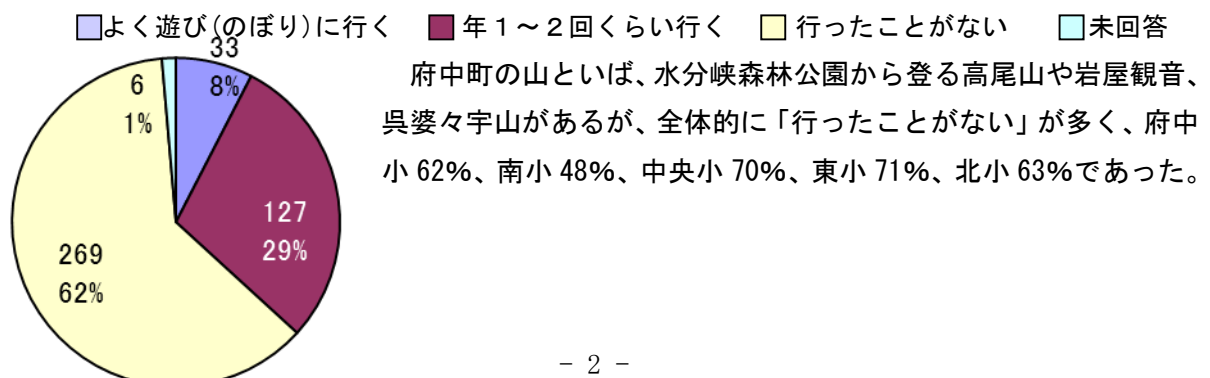
自由記述のため、色々な記述があったが大きな項目に分け、更に「住みやすさ」と「自然」に分けて示した。

「住みやすさ」の中で、「お店や施設が多い」に回答した児童は、府中小、南小だけで73%を占めたが全体では昨年より大幅に減った。また、「人がやさしい・親切」「あいさつしてくれる」「友達がたくさんできる」など、「人・地域が良い」に関する記述が多かった。

「自然」の記述については「自然が多い」の記述が突出している。

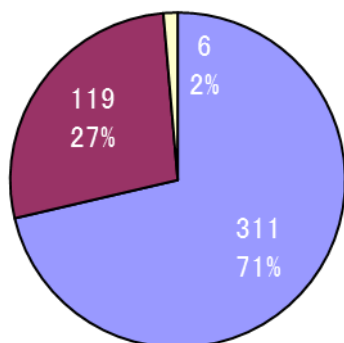
その他の記述では、「景色がいい」「にぎやか」「空気がきれい」などがあつた。

問2 府中町の山（岩屋観音や高尾山、呉婆々宇山方面）に行くことがありますか？



問3 府中町の山に（また）行きたいと思いますか？

■ 思う ■ 思わない ■ 未回答



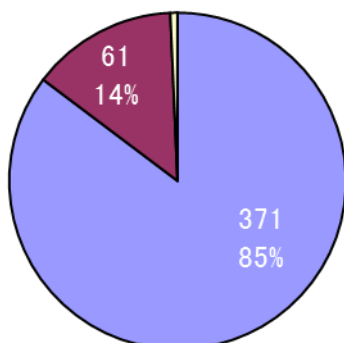
「山に（また）行きたい」と「思う」が、府中小 69%、南小 66%、中央小 74%、東小 75%、北小 76%であった。

行きたいと思う理由では、各校とも「自然がたくさんある」が一番多く、「たんけんできる」がそれに続いた。また、その他の記述では、「景色がきれい」「行ったことがないから」などがあった。

行きたいと思わない理由では、「興味がない」が 41%と一番多かった。

問4 府中町の川や池はほとんど入ることができませんが、入ることができるなら遊びたいと思いますか？

■ 遊びたい ■ 遊びたくない



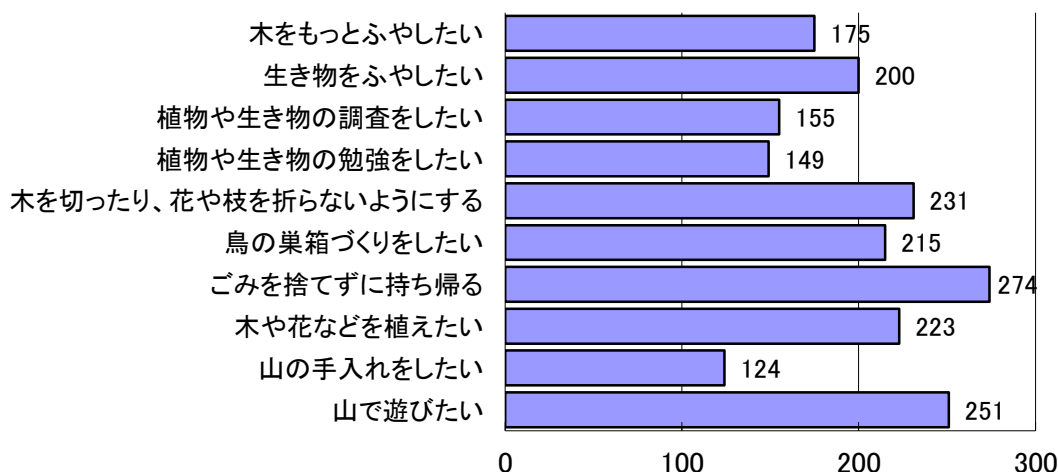
川や池で「遊びたい」が 85%で、各校とも問3「（山に行きたいと）思う」の割合より多かった。

「何をして遊びたいですか」では、「水遊び」「釣り」が多かった。また、その他の記述では、「泳ぐ」「生物の観察」「ごみ拾い」という記述もあった。

遊びたくない理由では、「興味がない」「水がきたない」の順で多かった。その他の記述では、「おぼれる」「ぬれたくない」「川や池が汚れたら嫌」などがあった。

問5 府中町にある山・川や池・生き物について、下の表に書いている内容を見て、自分がやりたいと思うことに○をつけてください。（複数回答）

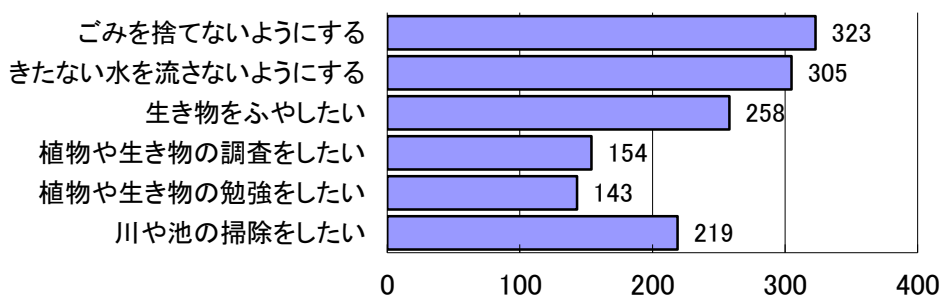
（1）山について



「ごみを捨てずに持ち帰る」は、各校とも半数以上の児童が回答していたが、特に府中小・中央小・東小では 67%以上と多かった。

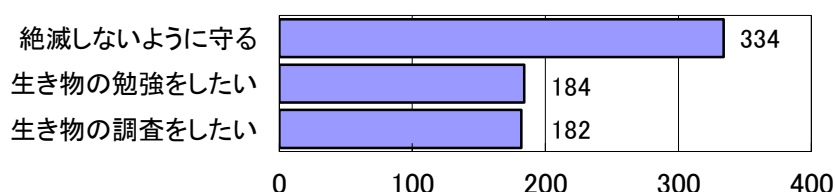
また、全ての項目で昨年より回答数が減った。

(2) 川や池について



「ごみを捨てないようにする」「きたない水を流さないようにする」を、各校とも 63%以上の児童が回答していた。また、「ごみを捨てないようにする」は中央小で 81%、「川や池の掃除をしたい」では北小で 80%の回答があった。

(3) 自然の生き物について



「絶滅しないように守る」を、各校とも 70%以上の児童が回答していた。

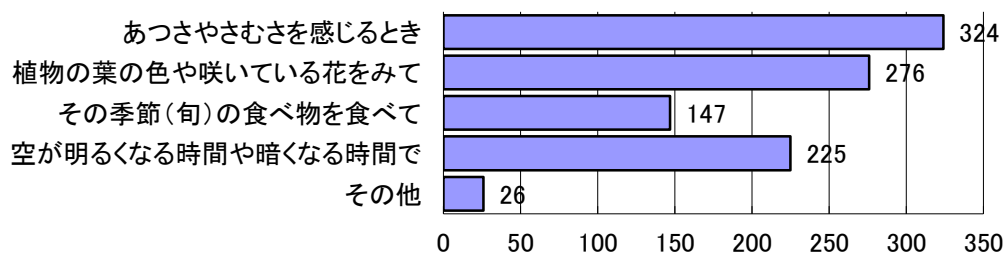
また、「生き物の勉強をしたい」「生き物の調査をしたい」は北小が 70%以上の児童が回答し、突出していた。

(4) その他

その他の自由記述では、「自然をもっと増やしたい」「むやみに生きものを捕まえない」「ゴミ箱を作りたい」「町のマスコットキャラクターを作りたい」などがあつた。

◇ 自然について

問6 「季節が変わったな…」と感じるのは、どんなときですか？（複数回答）



各校とも「あつさやさむさを感じる時」は 63%以上、「植物の葉の色や咲いている花をみて」は 57%以上の児童が選択していた。

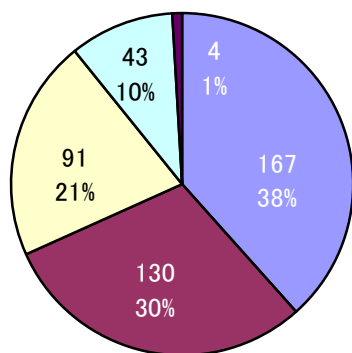
なかでも、「あつさやさむさを感じる時」は、中央小と北小で 80%以上と突出していた。

また、「その季節(旬)の食べ物をたべて」は回答数が増えた。

その他の記述では、「服装の変化」「虫の種類」「風景の変化」などがあつた。

問7 自然の中で遊んだり、自然の生き物にふれたりすることはありますか？

■ よくある(月に1回以上) ■ 時々ある(2～3ヶ月に1～2回)
■ めったにない(年に1～3回) ■ 全くない ■ 未回答

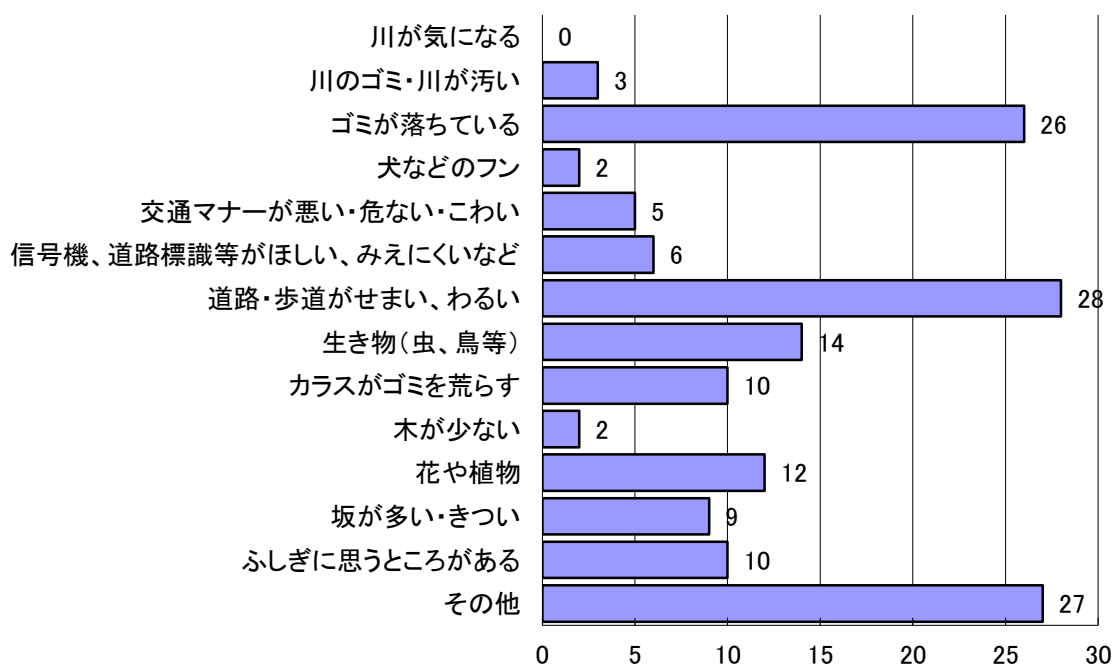


「よくある」「時々ある」を、各校とも半数以上の児童が回答していた。

「よくある」は、東小 65%と突出しており、他校では約 33%だった。

また、「めったにない」「全くない」は、東小・北小が約 21%で他校と比べて少なかった。

問8 通学路で気になるところはありますか？



自由記述のため、大きな項目に分けて示した。147人の児童が気になるところを記述した。

「道路・歩道がせまい、わるい」については、「歩道がない・狭い」「横断歩道がない」という記述が多く、「ゴミが落ちている」については、「たばこの吸殻が落ちている」、「生き物(虫、鳥等)」については、「鳥の巣がある」という記述が多かった。

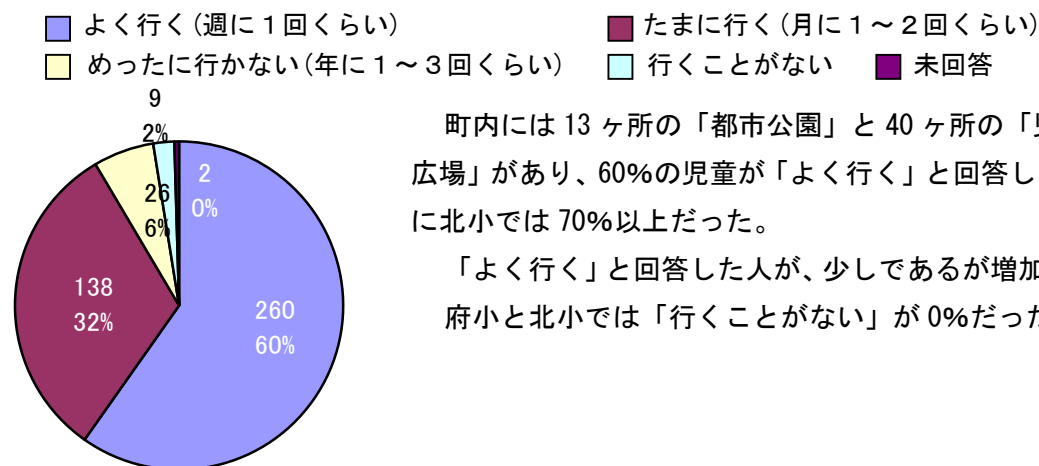
「カラスがゴミを荒らす」では9件が南小だった。

「ふしぎに思うところ」では「入ってはいけないところの奥に何があるのか気になる」「建設中のマンション」などの記述があった。

その他の記述では、「人通りが少ない」「木が工事で切られている」「ごみ捨て場が汚い」などがあった。

◇ 公園について

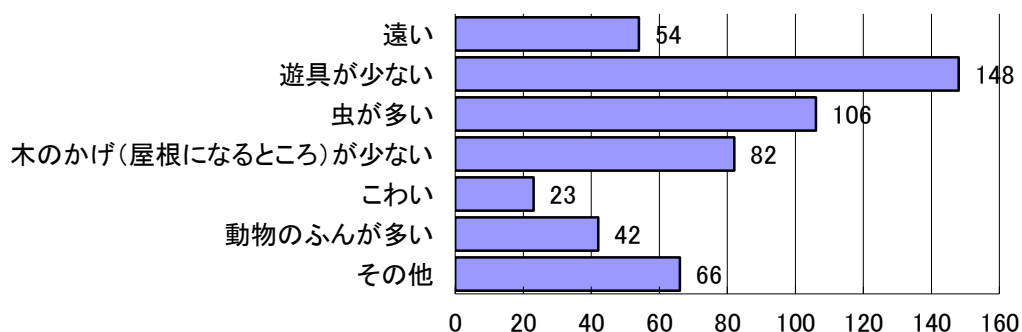
問9 公園によく遊びにいきますか？



町内には13ヶ所の「都市公園」と40ヶ所の「児童遊園・広場」があり、60%の児童が「よく行く」と回答している。特に北小では70%以上だった。

「よく行く」と回答した人が、少しであるが増加している。府小と北小では「行くことがない」が0%だった。

問10 公園に行かない理由で、ここがいやだということはありませんか？(複数回答)



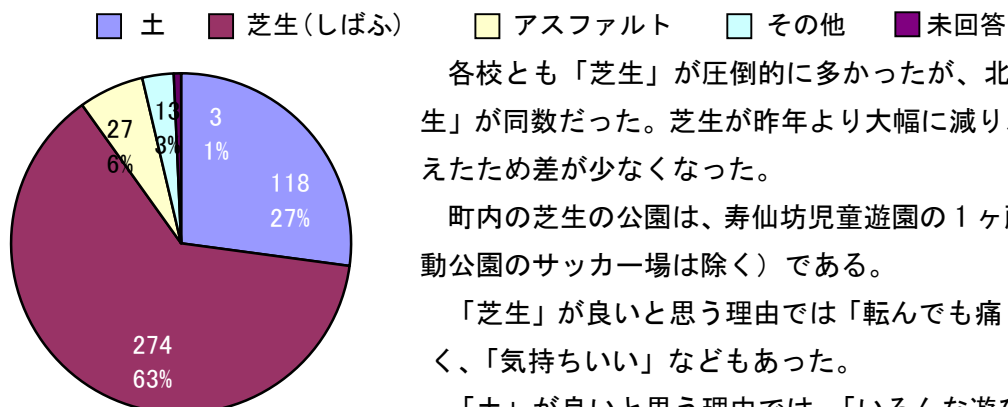
複数回答の設問で「遊具が少ない」が多かった。

「遊具が少ない」は昨年と比べ、大幅に増え、「動物のふんが多い」が減った。

自由記述の「何がこわいか？」では「ハチ」などの虫に関する記述が多かったが、「不審者」「トイレ」などの記述もあった。

その他の記述では「ボール遊びができない」が最も多く「ごみが多い」「時間がない」などがあった。

問11 公園の地面は、次のうちどれが良いと思いますか？



各校とも「芝生」が圧倒的に多かったが、北小のみ「土」「芝生」が同数だった。芝生が昨年より大幅に減り、また「土」が増えたため差が少なくなった。

町内の芝生の公園は、寿仙坊児童遊園の1ヶ所(揚倉山健康運動公園のサッカー場は除く)である。

「芝生」が良いと思う理由では「転んでも痛くない」が最も多く、「気持ちいい」などもあった。

「土」が良いと思う理由では、「いろんな遊びができる」、「転んでも大丈夫」などが多く、「花が植えられる」などもあった。

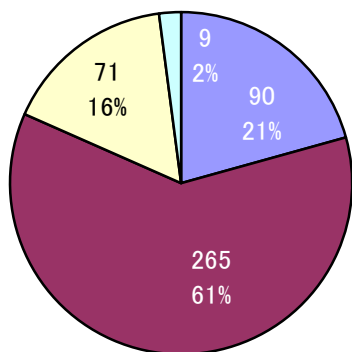
また、「アスファルト」が良いと思う理由では、「ボード遊びができる」などがあった。

その他の記述では、「コンクリート」、「やわらかい地面」などがあった。

◇ ごみについて

問12 道や川などに、ごみが落ちていますか？

■ たくさん落ちている ■ 少し落ちている ■ あまり落ちていない ■ 未回答

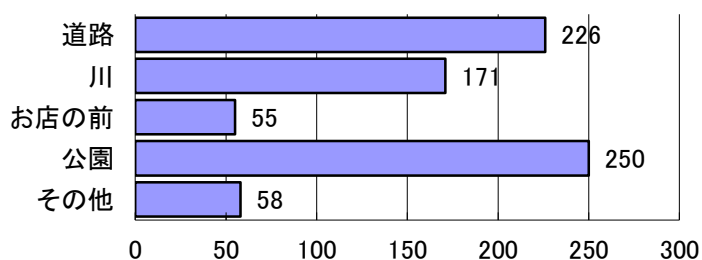


「少し落ちている」が多く、「たくさん落ちている」が続いた。両方を合わせて 82%の子どもが、道や川などにごみが落ちていていると感じている。

南小は「たくさん落ちている」が 28%で他校と比べて多かった。

また、「あまり落ちていない」は府小が 23%で一番多かった。

問13 とくに、どこに落ちているごみが多いと思いますか？（複数回答）

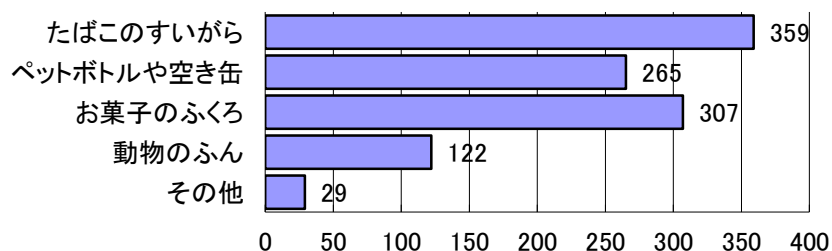


複数回答の設問で、一番多いのは「公園」で 57%だが、北小では 73%と突出していた。

また、「道路」は北小が 61%、「川」は北小が 73%で一番多かった。

その他の自由記述では「ゴミ置き場の前」が多く、「溝」「駐車場」などがあつた。

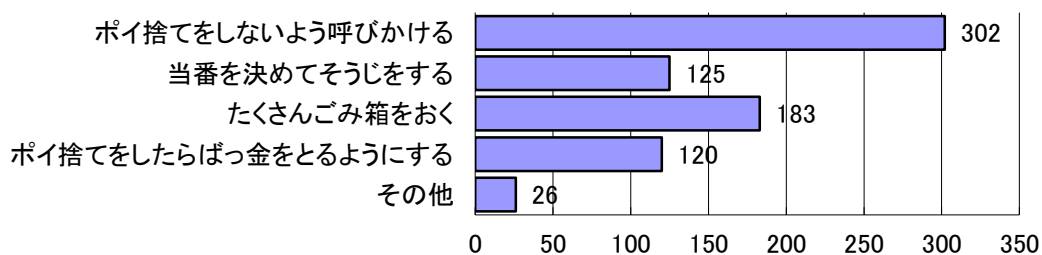
問14 どんなごみが多いと思いますか？（複数回答）



複数回答の設問で、府中小、南小、中央小、東小は「たばこのすいがら」が一番多かった。東小では 68%だが、その他の学校では 84%以上が回答していた。北小では「お菓子のふくろ」が最も多く 87%以上が回答していた。

その他の自由記述では、「ビニール袋」「ガム」「ティッシュ」が多かった。

問 15 ごみを減らすにはどうしたら良いと思いますか？（2つまで回答）



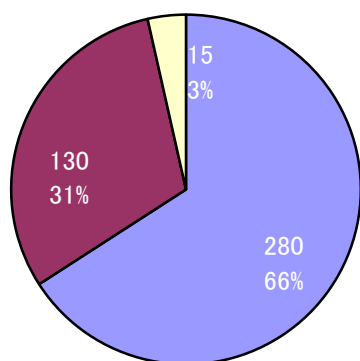
各校とも「ポイ捨てをしないよう呼びかける」が最も多かった。府中小・南小・中央小・東小では「たくさんごみ箱をおく」が続いたが、北小では「ポイ捨てしたらばっ金をとるようにする」が2番目に多かった。

その他の自由記述では、「ポスターや看板で呼びかける」「ごみが落ちていたら拾う」「自分も捨てないよう意識する」などがあつた。

◇ 景色や町並みについて

問16 府中町の中で、「お気に入りの場所」がありますか？

■ ある ■ ない ■ 未回答

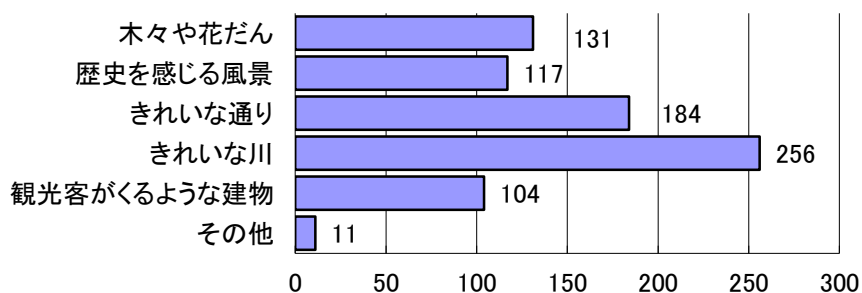


各校とも半数以上が「ある」と回答した。

「お気に入りの場所」は、「公園」が一番多く、「イオンモール」「学校」「くすのきプラザ・図書館」「バンビーズ・ハッピーズ（児童センター）」「みくまり峡」「学校」「おばあちゃんの家」などが多かった。また、「公園」では空城山公園のほか、近所の公園の名前が多く見られた。「秘密基地」や「友達の家」などの記述もあつた。

「その理由」の自由記述では、「公園」は「遊べる」「遊具が楽しい」「自然が多い」、「イオンモール」は「いろいろな物がある」、「みくまり峡」は「自然が豊かでのどか」「川がきれいだから落ち着く」、「学校」は「バスケができる」「面白い遊びがたくさんできる」、「くすのきプラザ・図書館」は「友達といろんなことができる」「いろいろな本があつて静かに読める」、「バンビーズ・ハッピーズ」は「いろいろな人と楽しく遊べる」、などが多かった。共通して、「楽しい」「落ち着く」という記述が多かった。

問 17 府中町の町なみ（町の風景）であつたらいいなと思うものは何ですか？（2つまで回答）



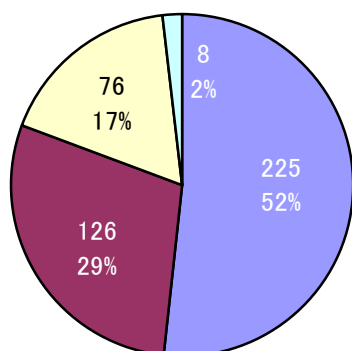
各校とも「きれいな川」が最も多く、「きれいな通り」が続いた。

その他の自由記述では、「動物や虫がたくさんいて触れ合えるところ」、「花がたくさんあるところ」などもあつた。

◇ 地球温暖化について

問18 地球温暖化を防ぐために自分がやっていることはありますか？

■ ある ■ ない ■ 地球温暖化を知らない ■ 未回答

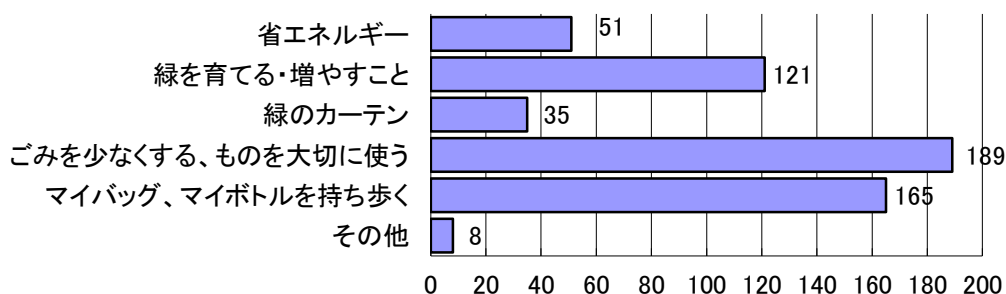


東小以外「ある」が多く、南小は76%が回答している。

東小は「地球温暖化を知らない」に44%が回答していた。

「ある」が大幅に減り、「ない」が大幅に増えた。

どんなことをしていますか？（複数回答）



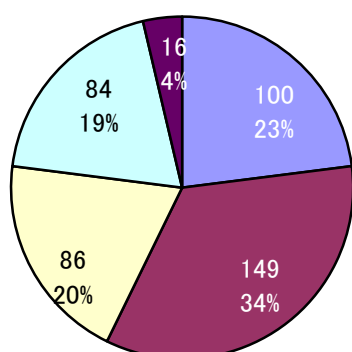
各校とも「ごみを少なくする、ものを大切に使う」が多かったが、南小は「マイバッグ、マイボトルを持ち歩く」が多かった。「マイバッグ・マイボトルを持ち歩く」が大幅に増え、「省エネルギー」「緑のカーテン」が大幅に減った。

「省エネルギー」の自由記述では、「電気をつけっぱなしにしない」「水を出しっぱなしにしない」「冷蔵庫の温度を変えた」「できるだけ歩く」などがあつた。

また、「その他」の自由記述では、「自転車に乗る」「リサイクル」「ゴミの分別」などもあつた。

問19 自分からみて、自分の家族は地球温暖化を防ぐ行動をやっていていると思いますか？

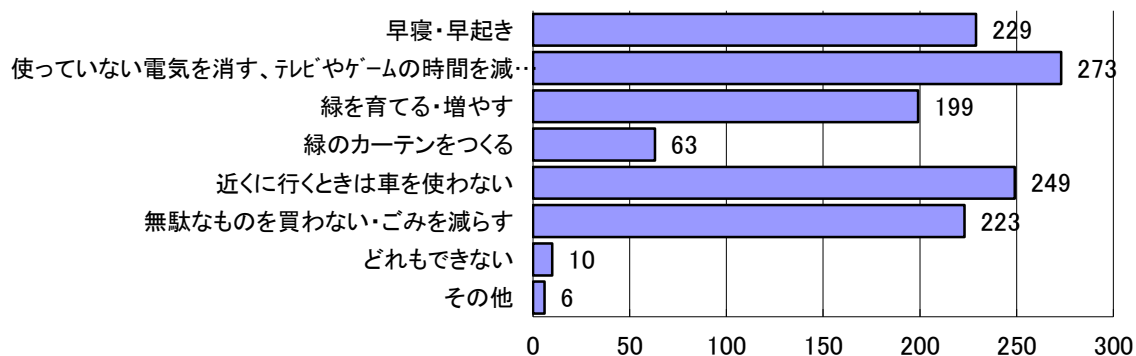
■ いつもやっている ■ 時々やっている ■ たまにやっている ■ ほとんどしていない ■ 未回答



77%の子どもが、自分の家族は地球温暖化を防ぐ行動を「やっている」と答えており、ほとんどの家庭で何らかの地球温暖化を防ぐ行動が行われていることがうかがえる。

「いつもやっている」の回答が昨年の30%から大幅に減った。

問20 地球温暖化を防ぐために、家族でできると思うことは次のうちどれですか？（複数回答）



複数回答の設問で、各校とも「使っていない電気を消す、テレビやゲームの時間を減らす」「近くに行くときは車を使わない」「無駄なものを買わない・ごみを減らす」が多かった。

「使っていない電気を消す、テレビやゲームの時間を減らす」「緑のカーテンをつくる」「無駄なものを買わない・ごみを減らす」が大幅に減った。

その他の自由記述では、「エコバッグを持ち歩く」「ごみの分別」「リサイクル」などがあつた。

◆◆◆ キッズ環境調査アンケートのまとめ ◆◆◆

このアンケートは、毎年、年度始め環境調査を行う前の子どもたちに行っています。

環境について調査・学習する前の子どもたちの意見を聴き、同じアンケートを同時期に継続して行うことで、子どもたちをとりまく環境の変化を調査することを目的としています。

平成 29 年度のアンケート結果について次のとおりまとめました。

◇山・川や池・生き物について

「山に行きたいと思いますか」という問いに対し 71%が「思う」に、「川に入って遊びたいと思いますか」という問いに対し 85%が「思う」に回答しているとおり、自然の中で遊びたいと思う子どもが多いことを示している。また、「川に入って遊びたい」と回答した子どもがより多いことから、府中町の子どもたちにとって、山よりも川の方が身近に感じられていると思われる。

「山や川でそれぞれ自分がやりたいこと」の問いに対し、「ごみを捨てないようにする」が一番多かった。

自分がやりたい項目を複数回答することができるが、1人当たりの回答数が減っており、関心や愛着が低くなっていることがうかがえる結果となった。

◇公園について

「公園によく遊びにいきますか」の問いに対し、90%以上の子どもが月に1～2回以上公園を利用していることがわかった。

「公園に行かない理由」の問いでは、「遊具が少ない」「虫が多い」が多く、その他では「ボール遊びができない」「ごみが多い」という回答が多く、子どもたちの要望・課題としてとらえることができる。

◇ごみ（ポイ捨て）について

「道や川などにごみが落ちていると思いますか」の問いに対し「ごみが落ちている」と感じている人が82%をしめている。

「通学路で気になる場所は」という問いでも「ごみが落ちている」の回答が多く、ごみのポイ捨てへの関心が高いことがうかがえる。

「とくに、どこに落ちているか」に対し、「公園」「道路」「川」の順で多く、「どんなごみが多いか」の問いに対し、「たばこのすいがら」「お菓子のふくろ」「缶・ペットボトル」の順で多かった。

ポイ捨てを減らすにはどうしたら良いと思うかの問いに対し「ポイ捨てをしないように呼び掛ける」「たくさんゴミ箱を置く」が多く、その他では、「ポスターや看板で呼びかける」「ごみが落ちていたら拾う」との回答が多かった。

◇景色や町並みについて

「府中町の中で、お気に入りの場所がありますか」の問いに対し、「自宅や自分の部屋」を除く場所で66%が「ある」と回答した。お気に入りの場所は、「公園（地元の公園）」「児童センター」「学校」が多く、よく行く場所とともらえることができる。

「あったらいいなと思う町並み（町の風景）は」の問いに対し、「きれいな川」が最も多く、「きれいな通り」が続いた。前述の問いから「行きたいと思う場所」ととらえることができる。

◇地球温暖化について

「地球温暖化を防ぐために自分がやっていることはありますか」の問いに対し、「ある」の回答が52%で昨年より10%減少した。

「どんなことをしているか」との問いに対し、「ごみを少なくする、ものを大切にする」「マイバッグ、マイボトルを持ち歩く」が多かった。

「家族でできると思うことは」の問いに対し、「使っていない電気を消す、テレビやゲームの時間を減らす」「近くに行くときは車を使わない」の順が多かった。

◇まとめ

「府中町の好きなところはどこですか」と自由記述で書いてもらったところ、「自然が多いところ」と「人がやさしい・親切」と多くの子どもたちが回答している。それに続いて「お店や施設があって便利」が多く、子どもたちにとって「自然」もあり「便利」な町と思う児童が多いと推察される。

また、「山・川などで自分がやりたいこと」で、ほとんどの項目で回答が減少していることから、山や自然に対して関心・愛着が減少していることがうかがえる結果となった。

ごみ（ポイ捨て）については、たばこの吸殻や、お菓子袋などのポイ捨てが多いという回答が多く、ごみ捨て場の汚さの記述、ごみの分別やリサイクルをするという記述が増え、ごみ環境の悪化がわかる結果となった。

キッズ環境調査プロジェクトでは、今後も、継続的に子どもたちの思いを地域や関係団体に発信し、環境への取組みのヒントとして活用していただけることを期待している。

その第一歩として、まずは、地域ボランティアの育成と活動の促進を軸に、今後も、地域と学校をつなげるような働きかけをしていきたい。

平成 30 年 3 月

府中町キッズ環境調査プロジェクト連絡協議会

事務局：府中町生活環境部環境課（環境政策係）

〒735-8686 広島県安芸郡府中町大通三丁目 5 番 1 号

電話：082-286-3247 FAX：082-286-4022

◆連絡協議会

第1回：平成29年5月11日（木）午後4時から くすのきプラザ 1階 会議室

第2回：平成30年1月22日（月）午後4時から くすのきプラザ 1階 会議室

◆環境出前講座、講師派遣の斡旋（キッズ環境調査プロジェクト）

H29. 06. 01(水)	水分峡森林公園	府中北学校 4年生（1学級）	41名	「水辺教室」
H29. 06. 05(月)	水分峡森林公園	府中小学校 5年生（3学級）	121名	「水辺教室」
H29. 06. 09(金)	水分峡森林公園	府中東小学校 4年生（2学級）	68名	「水辺教室」
H29. 07. 27(木)	府中公民館	公募 （小学生）	25名	「エコクッキング」
H29. 08. 29(火)	エネルギー総合 研究所	公募 （4年生以上）	17名	「エネルギーや地球温暖化を 楽しく学ぼう」
H29. 10. 25(水)	府中北小学校 （視聴覚室）	府中北小学校 4年生（2学級）	41名	「榎川を蘇らせよう会の活動 との役割について」
H29. 10. 25(水)	榎川 （府中北小下）	府中北小学校 4年生（2学級）	41名	「榎川の清掃」

◆活動物品の支援

デジタルカメラ、用紙類、プリンターインクなど 163,020円

◆活動発表・展示・広報など

展示：平成30年3月15日（木）～19日（月） 府中南公民館ロビー

平成30年3月21日（水）～27日（火） くすのきプラザ 1階 ギャラリー

広報紙（平成29年3月号、6月号、7月号、）

府中町公式ホームページ（平成29年6月更新）

その他、関係団体への情報発信

◆キッズ環境調査プロジェクトから生まれた地域の環境活動

H23～ 榎川（役場前）の定期清掃 （府中町公衆衛生推進協議会）

H23～ たばこのポイ捨て防止キャンペーン （府中町公衆衛生推進協議会）